



三重県立看護大学  
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



# MCN REPORT

2024.9 vol.60



## 対面での国際交流を再開しました

### contents

タイ王国マヒドン大学との国際交流 .....	1
TOPICS .....	2
地域交流センター講師派遣事業 .....	3
研究室訪問 .....	4
連携協力協定機関紹介（藤田医科大学七栗記念病院） .....	5
大学の出来事・お知らせ .....	6

## コロナ禍を経て、5年ぶりの対面での交流

本学では、平成13年にタイ王国マヒドン大学と国際交流協定を締結し、学生の相互派遣をはじめとした国際交流事業を行っています。

マヒドン大学との交流については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から令和5年度まで相互派遣を中止していましたが、今年度から対面での交流を再開し、5年ぶりに研修生3名を受け入れました。

研修生は、6月3日から6月15日まで、本学にて日本の看護・保健医療について学び、学生宅でのホームステイや学生との交流を通じて、日本の文化についても学びました。

### 短期研修プログラム

研修生は、約2週間のスケジュールの中で、本学教員による講義と三重県内の医療機関・施設の見学を通して、日本の看護及び保健医療について学びます。

講義においては、本学教員がそれぞれの専門領域について、タイの学生に英語で講義を行います。講義は学内公開となっており、本学の学生も参加することが可能です。

施設見学においては、病院や特別支援学校など県内9施設にご協力いただき、研修生からは「タイにはない施設もあり、とても勉強になった」という声が聞かれました。



### 本学学生との交流



研修期間中は、本学国際交流サークルやホストファミリーとなった学生が中心となって、歓迎会や文化視察を企画し、学生同士の交流を深めました。文化視察では、研修生に日本の文化を知ってもらうことを目的として、本学学生が伊勢と京都を案内しました。

また、タイの学生による、マヒドン大学の特徴やタイの文化に関するプレゼンテーション発表会が行われ、参加した学生は積極的に質問し意見交換を行っていました。

こうした交流の機会を通して、互いの文化を尊重し積極的にコミュニケーションを図ろうとする中で、学生同士の交流も深化したようでした。

### ホームステイを受け入れた学生の感想

#### 2年生 落合 美緒さん

私はホストファミリーになる前、苦手意識から、英語を話すことに少し抵抗がありました。しかし、ホームステイ期間で違う国の文化や言語などに触れたことで抵抗はなくなり、また貴重な経験をする事ができたと思います。このホームステイの経験をこれから活かしていくとともに、今回得られた繋がりを大切にしていきたいです。



#### 4年生 山下 梓織さん

初めは文化の違いや言語の違いに緊張していましたが、慣れない英語を使いながらも会話をしていくうちにすぐに緊張はなくなっていきました。2週間一緒に過ごしていくうちに日本とタイの文化の違いを知ることができたり、タイの学生からタイの料理を振る舞ってもらったりと、タイの学生が日本文化を感じることができたように、私もタイの文化を感じることができました。





## 第 26 回夢緑祭

7月13日(土)、本学の学園祭である夢緑祭を開催しました。夢緑祭は例年、多くの地域の方にお越しいただき、学生と地域の皆さまとの交流の場となっています。

今年度は、昨年度に好評であった脱出ゲームや有志によるダンス企画のほか、実行委員の学生が中心となって、お笑いライブやキッチンカーによる飲食物の販売など、これまでの夢緑祭にはなかったさまざまなイベントを企画立案しました。

当日は、予想を上回るたくさんの皆さまにご来場いただき、好評のうちに実施することができました。



### 実行委員長コメント

「第26回夢緑祭にご来場くださった学生、教職員の皆さま、共に夢緑祭を盛り上げてくださった皆さま、誠にありがとうございました。今回はお笑いライブやキッチンカーの出店など新しい試みが多く、困難な状況もありましたが、たくさんの方々のご協力のおかげでより良い夢緑祭をつくることができました。実行委員一同とても良い経験となりました。次年度以降の夢緑祭にもぜひご期待ください！」

### 「卒業生のきずなプロジェクト」

#### 令和6年度第1回茶話会

「卒業生のきずなプロジェクト」では、卒業生が看護職としての責務を継続して果たせるよう、さまざまな相談に答え、卒業生が仕事の悩みを共有できる場を提供し、燃え尽きおよび離職の防止を図っています。夢緑祭と同日に開催した第1回茶話会には、卒後1年目の12名の卒業生が参加し、就職してからの喜びや悩みの体験を共有し、とても充実した時間になりました。



## 学生広報スタッフの活動



大学広報活動の一環として、公募した学生広報スタッフ10名の協力のもと大学プロモーションビデオを作成しました。学生たちが企画の段階から関わり、出演やナレーションに参画しました。

### 学生広報スタッフ 和田 麻琴さん(2年)

看護師が人手不足となっている今こそ、ぜひ三重県立看護大学と一緒に看護師をめざして欲しいという思いと自分が在学していたという思い出づくりで参加させていただきました。改めて大学の楽しさや学ぶことの大変さ、それを仲間と乗り越えていく喜びを感じることができました。初めは恥ずかしいとも思いましたが、楽しくできました。

完成したプロモーションビデオは本学ホームページからご覧いただけます。

QRコードはこちら→



## 看護の知を地域に還元する

地域交流センターでは、教員の教育や研究、社会活動の専門性や成果を地域に還元するため、保健・医療・福祉の専門職の方をはじめ、県民の皆さまを対象とした講師派遣事業を行っています。

### みかん大出前講座

「みかん大出前講座」では、教員それぞれが自身の専門性や教育・研究成果をもとに、さまざまなテーマの講座を提供しています。今年度は、30テーマの講座を掲げ、県内各所におうかがいしています。

7月9日（火）には、基礎看護学 灘波 浩子 准教授が、「看護のお仕事について」をテーマに、四日市市立桜中学校で講義しました。中学2年生を対象として、将来の職業選択の一助となるように、看護師、保健師、助産師の仕事について、教員の実体験や看護場面の動画を交え、お話ししました。



### みかん大リクエスト講座

「みかん大リクエスト講座」では、県民の皆さまからのリクエストに応じ、ご希望のテーマ、内容で、講師派遣を行っています。

7月26日（金）には、成人看護学（急性） 長谷川 智之 准教授が、中勢森林組合へうかがいました。年じゅう山に入り、森林の手入れに携わる方々からのリクエストは、「熱中症の予防と対応／ハチに刺されたときの対応について」でした。教員の得意分野を活かし、応急処置に関する実演も交え、お話ししました。

#### 講義の内容

- 熱中症による救急搬送の現状
- 熱中症について
- 熱中症×新型コロナウイルス感染について
- 一次救命処置について
- ハチに刺されたときの対応



### 令和6年度申し込み方法（令和6年度開催分のお申込みは、11月29日（金）で受付終了となります）

#### ● みかん大出前講座

- ① テーマ選定：「講師派遣のご紹介」パンフレットよりご希望のテーマをお選びください。
- ② パンフレット P.25 の申込書に記入し、FAX または e-mail にてご送付ください。  
お申込みの条件等は、パンフレット P.3 の「ご留意いただきたいこと」をご確認ください。

#### ● みかん大リクエスト講座

- ① 希望されるテーマ・内容・講師についてご検討ください。テーマの実例は、パンフレットの P.8 にございますが、それ以外のテーマもリクエストいただけます。
- ② パンフレット P.27 の申込書に記入し、FAX または e-mail にてご送付ください。  
お申込みの条件等はパンフレット P.6 の「ご留意いただきたいこと」をご確認ください。

パンフレットは  
こちらからご覧  
ください。



お問合せ：地域交流センター

TEL/FAX 059-233-5610 e-mail rc@mcn.ac.jp



## 母性看護学 渡邊 聡子 教授 にインタビュー

### ◎ 母性看護学とは、どのような学問ですか。

母性看護学は、妊娠・出産・産後の回復期、育児期における母子とその家族が、健康で幸せな生活を送るための支援方法を探求する学問です。次世代の健やかな育成のため、胎児期から乳幼児期、思春期、成熟期、更年期、老年期に至るまで、女性とその家族を対象に関わります。また、現代における性や生殖を取り巻く課題は、高年出産、不妊治療、出生前診断、子育ての孤立、産後うつ、性暴力・虐待、性感染症、性別違和に対する理解および支援の不足など、多岐にわたります。これらの課題に対応するため、母性看護は妊娠や出産のケアにとどまらず、性と生殖の健康という視点から、生涯を通じた連続性をもって、身体的、精神的、社会的側面を統合した存在として女性を捉えケアしていくことが必要です。

### ◎ 研究テーマを教えてください。

母性看護の視点から災害看護に関する研究を行っています。きっかけは、着任した大学が全学的に取り組んでいた21世紀COEプログラム「ユビキタス社会における災害看護拠点の形成」への参加でした。その後、新潟県中越大地震を体験した妊産褥婦に5年間の縦断調査を行う中で、子育て中の方々が困難に立ち向かい、レジリエンスを発揮して乗り越えていく強さに感銘を受けたことが、災害関連の研究を続ける原動力となっています。

### ◎ 具体的にどのような研究をされていますか。

これまでに、災害時における妊産褥婦や育児中の母親および乳幼児の健康ニーズの明確化、妊産褥婦や乳幼児をケアする看護職者における災害時ケア内容の明確化、これらの結果に基づいたケアガイドラインの開発、およびその有用性の検証を行ってきました。さらに、看護職者向けの災害への備え教育プログラムの作成と、それをういた備えの効果検証、加えて、妊婦とその家族を対象とした災害への備え教育プログラムの作成と、その効果検証なども行ってきました。

### ◎ 今後の研究の展望をお聞かせください。

現在は、ICTを用いた災害への備え教育プログラムの開発や、災害時の安心創造に向けたケア方略の構築に関する研究に携わっています。妊産褥婦や乳幼児は個人や家族へのアプローチとなりがちですが、今後は地域やコミュニティ内でのような支援体制を強化できるかについても検討していきたいと考えています。





# 連携協力協定機関紹介

## 藤田医科大学七栗記念病院

### 生きる力を支える医療へ

～ 人に優しく、患者さん中心の看護を実践 ～



七栗記念病院は、藤田医科大学の4つの病院（藤田医科大学病院・ばんだね病院・岡崎医療センター・七栗記念病院）の一つです。その中で、当院は三重県津市にある回復期リハビリテーション、緩和ケアを主軸とする専門性に特化した218床の病院で、訪問事業も展開し地域と共にあり続ける病院をめざしています。

当院の要はチーム医療です。すべての分野において患者さんのその人らしさを大切にしています。患者さんの力を信じ、患者さんの思いに寄り添い、能力を引き出せるケアを実践しています。看護部の理念は「人に優しく、患者さん中心の看護を実践します」。その鍵は、看護師の「患者さんに寄り添う」から始まり、多職種のスタッフをつなぐチーム医療の要として力を発揮し「患者さんの生きる力を支える医療」を実現しています。看護師教育には藤田学園ラダーが存在し、大学教育を基盤とする教育サポート体制が構築されています。その中で、看護の仕事を目指す全ての人が、自分らしく輝ける環境をつくり、さまざまな人生のステージを迎えながら、めざす看護を一生続けることができます。

三重県立看護大学とは連携協力病院として、臨地実習の受入やマヒドン大学の短期研修生の見学受入などと共に、大学からの研究支援や大学院などにより当院職員の教育に携わっていただいております。今後も継続して大学教育機関と臨床現場との連携から看護の質の向上に取り組んでいきたいと思っております。

(看護部長 松嶋 文子)

### 病院情報

藤田医科大学七栗記念病院 (昭和62年4月1日 開設)

- 病床数：218床
- 診療科目：4科 内科、緩和ケア・外科、リハビリテーション科、歯科
- 職員数：職員数 441人 (うち看護師 146人) 令和6年7月1日現在

## 三重県立看護大学 地域交流センター 第1回公開講座

6月29日(土)、藤田医科大学七栗記念病院前院長の園田 茂先生を講師にお招きし、「脳卒中とリハビリテーション」をテーマに、公開講座を開催しました。

講演では、リハビリテーションの目的や内容について、専門的な内容でありながらも、県民の日常生活や生活動作に役立つ貴重なお話をいただきました。当日は、86名の県民の皆さまにご参加いただき、「身近なことに例えて説明してくださったので、とても理解しやすかったです」「リハビリの話でしたが、元気でもその応用ができる内容で、よかったです」などの感想をいただき、大変好評でした。





## 大学の出来事

### ● 就職説明会・就活講座

7月10日(水)、就職説明会を開催し、三重県内33の医療機関・行政機関に参加いただきました。各機関のブースを学生が訪問し、病院紹介や質問に答えていただくなど、就職活動の貴重な機会となりました。

また、同日、外部講師を迎え就活講座を開催し、就職に関する情報収集の方法やマナーなど就職活動の進め方についてお話しいただきました。



### ● 「三重を知ろう I」 知事講話

6月19日(水)、1年次科目「三重を知ろう I」の臨地実習の一環として、一見 勝之 三重県知事にお越しいただき、「魅力あふれる三重の未来」をテーマにご講演いただきました。

講演後には、学生と知事との意見交換の機会が設けられ、三重県の課題である人口減少や看護職員の充足について活発な討論が行われ、貴重な学習の時間となりました。



### ● みかんだいオープンキャンパス 2024

8月3日(土)、「みかんだいオープンキャンパス 2024」を開催しました。当日は大学案内、入試説明、模擬授業、学生相談や、実際の授業で使用している看護教材を用いた体験などのプログラムを実施し、558名の方に参加いただきました。

参加者からは「看護に関する色々な体験ができてよかった」などの感想をいただきました。



### ● 高校生のための看護職キャリアデザイン講座「一日みかんだい生」

8月6日(火)・7日(水)、看護職に興味を持っている高校生を対象に、看護職者の講義や学生の体験談、ワークショップを通して、自身の看護職者としての適性や、将来のキャリア形成について見つめ直してもらうプログラムを実施しました。2日間で103名の方に参加いただき、進路を考えるよい機会になったという声を多数いただきました。



## 第2回公開講座のお知らせ

- 日 時** 令和6年10月19日(土) 13:30～15:00  
**場 所** 三重県立看護大学 講堂  
**講 師** 富本 秀和 氏 (済生会明和病院 病院長)  
**テ ー マ** 「認知症早期発見のコツ 早く見つけて予防介入しよう！」  
**定 員** 先着 200 名  
※定員に達した場合、当日受付はございませんのでご了承ください。  
**申込期間** 9月24日(火)～10月16日(水)  
**申込方法** 右記のQRコードまたはお電話のいずれかでお申込ください。  
**電話・FAX** 059-233-5610 (地域交流センター)



## さらなる発展と人材育成の充実に向けて ～学生支援のための基金への寄付のお願い～

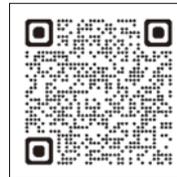
三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、進学  
の目的及び意志が明確であるにもかかわらず経済的  
理由により進学が困難な学生を対象とした、返還の  
必要のない入学時奨学給付金「みかん大進学支援給  
付金」制度につきまして、令和6年度も1年生4名  
に各20万円の支援を実施することができました。

今後も継続的な修学支援を行いたいと考えており  
ますので、引き続き、本基金へのご理解ご協力を賜  
りますようよろしくお願いいたします。

### 寄付申出書によるご寄付のお礼

令和6年4～7月の間に3名の方々から合計60,000円  
を頂戴いたしましたこと、心より御礼申し上げます。

### ～三重県ふるさと応援寄附金～



ふるさと納税制度に  
よるご寄付は、左記  
QRコードからお申  
込み願います。



地域と繋がり安心をお届けたい

看護師募集中  
空き完備  
各種手当支給

“なりたい看護師”を応援します

## 名張市立病院

- 地域医療支援病院
- 災害拠点病院
- がん診療連携病院

〒518-0481  
名張市百合が丘西1番町178番地  
TEL: 0595-61-1100 (代表)  
HP: <https://nabari-city-hospital.jp/>

YouTube  
チャンネル登録者  
**12000** OVER  
QRコードからホームページをシェア

## 看護師 募集中 Recruit

豊和グループ  
豊和会 豊和会 豊和会 豊和会 豊和会

募集事業所  
病院  
介護老人保健施設  
特別養護老人ホーム  
介護付有料老人ホーム  
訪問看護ステーション

「豊和病院は三重県から  
「女性が働きやすい医療機関」  
に認証されています」

みえ働きやすい介護職地  
取組宣言事業所

女性が働きやすい  
医療機関認証

女性活躍推進企業  
えるぼし認定

三重県の志摩市、鳥羽市、伊勢市で  
14施設26事業所を運営しています

〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶉方2555-1  
TEL 0599-43-9711 HP <https://howagroup.jp>

## 編 集 後 記

Vol.60 となる今回は、対面での国際交流の再開につ  
いてご紹介しました。マヒドン大学とは、コロナ禍にお  
いてもオンラインで交流を持っていましたが、直接触れ  
合うことが学びや文化交流を深めるためにどれほど重要  
かを改めて感じる機会となりました。

また、地域交流センターが実施する講師派遣事業に  
ついてもご紹介しました。本学は、教育・研究の成果を  
地域に還元するさまざまな取り組みを行っています。今  
後も、地域の皆さまに向けた活動の様子をお届けでき  
ればと思います。

(メディアコミュニケーションセンター委員会)



本学マスコットキャラクター  
【みかんちゃん】

三重県立看護大学の略「三看大(みかん  
だい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優  
しさ」をイメージした大学キャラクター  
です。平成21年の法人化を機に学内か  
らの公募で選ばれ活躍しています。

## 公立大学法人 三重県立看護大学

〒514-0116  
三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
TEL 059-233-5600(代)  
FAX 059-233-5666  
<https://www.mcn.ac.jp/>



本学は、「大学基準協会」の定め  
る大学基準及び「日本看護学教  
育評価機構」の看護学教育評価  
において「適合」の認定を受け、  
大学及び看護学教育の質につ  
いて保証されています。